



展開された非常用管制塔装置

提供：東京航空局

非常用管制塔装置EVA-05C

羽田空港にて展開訓練実施

国土交通省航空局へ納入した非常用管制塔装置EVA-05Cが、羽田空港にて展開されました。本装置は、東日本大震災の際に仙台空港で実際に使用されたEVA-05の後継機であり、納入後初めての展開となります。

非常用管制塔装置は常設の管制塔が不測の事態に陥った時、その代替手段として使用するためのシステムです。今回の展開は、東京航空局および東京空港事務所により訓練として実施されたものです。日々の訓練により、非常時においても航空機の安全を確保し、安全な飛行に大きく貢献するものとなります。

明星電気は、これからも培った経験とノウハウを開発に生かし、空の安全に貢献していきます。

(担当：気象防災事業部)



放送制御装置(左)と放送所

下久保発電所放送装置取り換え完了

群馬県企業局下久保発電所の放送装置取り換え工事が完了しました。

下久保発電所放送装置は、下久保発電所(制御所)の放送制御装置と、下久保発電所放水口(放送所)の放送装置で構成されます。下久保ダムから取水する水力発電所で、発電機起動信号を放送制御装置が受信すると放送装置が起動し、スピーカーから発電による川の増水を知らせ、川から出るよう注意喚起する放送が流れます。この他、マイクによる音声の放送も可能であり、発電時以下流域の安全を確保するために重要な装置となっています。

明星電気の技術が、水力発電の現場における安全・安心に貢献しています。

(担当：気象防災事業部)



JAXA研究成果報告会ホームページ

第2回地球観測研究に関わる研究成果報告会で発表

宇宙航空研究開発機構(JAXA)／地球観測研究センター(EORC)との共同研究で主責任研究者(PI)に登録されている当社従業員が、1月12～21日にオンラインで開催された研究成果報告会(Joint PI Meeting)で成果発表を行いました。

このJoint PI Meetingは、アメリカ航空宇宙局(NASA)などの海外研究機関に対して日本側の成果を報告する場でもあります。2021年度は3年間に及んだ第2回地球観測研究の最終年度で、その集大成として報告を行いました。これまで衛星観測が持つであろうとされながらも、それを地上で検証することが難しかった技術上の特性の確認に役立つPOTekaの観測データもありました。

また3月3、4日には、JAXAと名古屋大学宇宙地球環境研究所主催のGPMおよび衛星シミュレータ研究集会在オンラインで開催され、こちらでも発表を行いました。

明星電気は、これからも気象学／防災学や衛星観測などの科学技術の発展に貢献していきます。

・The Joint PI Meeting of JAXA Earth Observation Missions FY2021

https://pco-prime.com/pi_joint_ws2021/

・2021年度GPMおよび衛星シミュレータ研究集会

https://www.eorc.jaxa.jp/GPM/EVENT/GSMaP/WS_220303_04/

(担当：気象防災事業部)

【文中：敬称略】

Sensing & Communication

私たちは、独自の Sensing & Communication 技術により、革新的な商品・サービスを創造し、

安全・安心な社会の発展に貢献していきます。